

様式 A-4-1 [作成上の注意]

＜対応事業＞
特別研究員奨励費

1. 「1 課題番号」欄は、右詰で記入すること。

(例) ・特別研究員の場合

	2	6	・	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---	---	---

・外国人特別研究員の場合

	2	6	・	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---	---	---	---

2. 「2 請求額」欄については、以下に従って記入すること。

＜直接経費の交付請求額が 300 万円未満の場合＞

- ・平成 26 年度請求額を前期分と後期分に分けずに、全額を前期分請求額欄に記載すること。
- ・後期分請求額欄には「0」を記入すること。

＜直接経費の交付請求額が 300 万円以上の場合＞

- ・前期（4 月～9 月）分請求額と後期（10 月～3 月）分請求額を分けて記載すること。
- ・直接経費の請求額は 10 万円単位とすること。
- ・間接経費の額は、前期分・後期分それぞれの直接経費の 30% に相当する額とすること。
- ・後期分請求額については、10 月頃に送金予定。

3. 補助金の受領を所属する研究機関の長に委任すること。大学長に補助金の受領を委任する場合には、研究機関名に大学名のみ記入すること。なお、学校法人理事長に補助金の受領を委任する場合には、研究機関名に大学名とともに（ ）書きで学校法人名を記入すること。